

平成25年度 第1回松江市入札監視委員会

議 事 概 要

開催日及び場所	平成25年7月16日(金) 松江市役所 本館北棟3階 入札室	
委 員	委員長 朝田 良作(島根大学法科大学院教授) 委員 有田 友子(元島根地方労働審議会委員) 上田 務(松江工業高等専門学校名誉教授) 大野 敏之(弁護士) 後藤 勇(公認会計士)	
審議対象期間	平成24年12月1日～平成25年3月31日	
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・落札率等の状況について ・入札方式別発注工事等の状況について ・指名停止等の運用状況について等 	
審 議 事 項	抽出案件数 5件	
	一般	1. 市道古志大野線道路改良その5工事
		2. 松江市宮補助競技場人工芝改修工事
	指名	3. 林道大谷東線舗装工事
		4. 美保関分団美保関班消防機庫西地区新築工事
指名	5. 平成24年度 史跡松江城石垣総合調査業務委託	
		(備考) 抽出の考え方(抽出担当委員) 次の点に着目し、抽出を行った。 ・契約金額が大きい案件。 ・落札率が高い又は低い案件。 ・入札参加者が少ない案件。
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見 又は勧告の内容	なし	

※参考までに、各抽出事案の「抽出事案説明書」を添付します。

抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札		
工事名	市道古志大野線道路改良その5工事		
工期	平成25年3月20日～平成25年10月25日		
工事種別	土木一式工事		
工事概要	<p>施工延長 L=340.0m</p> <p>道路土工 掘削V=680m³ 盛土工V=420m³ 路床改良(現道) A=2,420m²</p> <p>排水構造物工 管渠(ヒューム管φ700) L=8m 管渠(重圧管1種φ300、400、600) L=76m 道路用側溝歩道用300A L=153m 自由勾配側溝 L=127m 角フリューム300 L=124m 集水樹 N=12箇所</p> <p>舗装工 表層工(車道、t=5cm) A=2,960m² 表層工(歩道、t=3cm) A=1,240m²</p> <p>緑石工 歩車道境界ブロック L=360m</p> <p>防護柵工 転落防止柵(土中建込) L=85m</p> <p>区画線工 溶融式区画線(実線、白、W=15) L=1,430m 溶融式区画線(破線、白、W=15) L=20m 溶融式区画線(ゼブラ、白、W=45) L=13m</p>		
入札参加資格	<p>① 資格及び格付、総合点数 平成23、24年度松江市建設工事競争入札参加者名簿に記載があり、土木一式工事の総合点数が851点以上であること(松江市の格付B以上に相当)。</p> <p>② 営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。</p> <p>② 工事实績 平成9年度以降に完成した1契約で2,500万円以上の土木一式工事の施工実績があること。</p> <p>③ 配置予定技術者 申請者との直接的・恒常的な雇用関係があること。また、主任技術者又は監理技術者を専任できること。</p>		
入札参加資格設定の理由及び経緯	<p>設定理由:「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。</p> <p>経緯:平成25年2月19日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。</p>		
入札参加資格確認申請業者数	8社		
入札参加業者数	7社	無資格業者数	なし
予定価格(税込)	59,986,500円		
最低制限価格(税込)	50,793,750円		
契約金額(税込)	58,170,000円(落札率:96.97%)		
入札の経緯及び結果	<p>平成25年3月13日 開札 最低価格者:株佐藤組</p> <p>平成25年3月15日 事後審査の結果、株佐藤組に落札決定 (詳細は「入札調書」のとおり。)</p>		

抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札		
工事名	松江市営補助競技場人工芝改修工事		
工期	平成25年1月30日～平成25年3月21日		
工事種別	舗装工事		
工事概要	既設人工芝巻取工 A=2,140 m ² 人工芝敷設工 A=2,140 m ²		
入札参加資格	<p>①工事实績 平成9年度以降に完成した、1契約で次の要件を満たす工事の施工実績があること。 ○面積が1,000平方メートル以上の人工芝の新設又は全面改修であること。ただし、公益財団法人日本サッカー協会の「JFAロングパイル人工芝ピッチ公認規定」に基づく公認を習得した施設の施工に限る。</p> <p>②配置予定技術者 申請者との直接的・恒常的な雇用関係があること。また、主任技術者又は監理技術者を専任で配置できること。</p>		
入札参加資格設定の理由及び経緯	<p>設定理由：「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。 経緯：平成24年12月26日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。</p>		
入札参加資格確認申請業者数	2社		
入札参加業者数	2社	無資格業者数	なし
予定価格（税込）	32,901,750円		
最低制限価格（税込）	低入札価格調査制度及び最低制限価格制度を適用しない工事		
契約金額（税込）	19,950,000円（落札率：60.64%）		
入札の経緯及び結果	<p>平成25年1月23日 開札 最低価格者：長谷川体育施設(株)山陰営業所 平成25年1月24日 事後審査の結果、長谷川体育施設(株)山陰営業所に落札決定 (詳細は「入札調書」のとおり。)</p>		

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	林道大谷東線舗装工事
工期	平成25年3月30日～平成25年10月31日
工事種別	土木一式工事
工事概要	<p>施工延長 L=2,070m 施工幅員 W=4.0～5.0m 工種 舗装工事 掘削工 1式 残土処理工 1式 舗装工 表層 (t=4cm) A=10,096m² 路盤 (t=7cm) A=10,510m² 区画線工 L=4,220m 縁石工 (アスカーブ) L=417m 土質試験費 (CBR) 一式</p>
工事のランク	なし
指名業者数	11社
指名業者を選定した考え方	<p>松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、舗装工事登録のある市内業者のうち、アスファルトフィニッシャーを保有（継続的なリース契約を含む）し、恒常的にオペレーターが在籍している11社から全者を選定した。</p>
入札参加業者数	11社
予定価格（税込）	44,999,850円
最低制限価格（税込）	39,621,750円
契約金額（税込）	43,050,000円（落札率：95.67%）
入札の経緯及び結果	<p>平成25年3月28日 開札 日発工業㈱に落札決定。 （詳細は入札経過表のとおり。）</p>

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	美保関分団美保関班消防機庫西地区新築工事
工期	平成24年12月14日～平成25年3月15日
工事種別	建築一式工事
工事概要	積載車導入に伴い、老朽化した機庫を車両の入庫可能な機庫へ建て替えるもの。 (建物の概要) 用途：消防車車庫 構造：木造平屋建て 延床面積：19.20 m ²
工事のランク	建築一式工事 B等級又はC等級
指名業者数	15社
指名業者を選定した考え方	松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、建築一式工事登録のある市内業者48社のうち、15社をローテーションにより選定した。
入札参加業者数	1社(14社辞退)
予定価格(税込)	3,986,850円
最低制限価格(税込)	3,425,940円
契約金額(税込)	3,979,500円(落札率：99.82%)
入札の経緯及び結果	平成24年12月12日 開札 (株)紅花組に落札決定。 (詳細は入札経過表のとおり。)

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
業務名	平成24年度 史跡松江城石垣総合調査業務委託
委託期間	平成25年2月15日～平成25年3月29日
業務種別	石垣総合調査
業務概要	<p>史跡である松江城の石垣について、今後の修理・保護計画・管理方法などの計画を策定するため、3次元計測レーザー測量による史跡地内の石垣の詳細な測量調査及び調書を作成するもの。</p> <p>敷地内に必要な基準点を設置したうえで、規模・形態上の基礎データ、石垣の積み方等の特徴を記載した調書を作成し、3次元レーザー測量を実施して必要な情報を加筆してこれに添付する。合わせて、測量データから石垣の変異状況を検証し、危険度の判定を行う。</p> <p>(1) 作業計画策定 (2) 3級基準点設置 (3) 調書の作成 (4) 3次元レーザー測量</p>
業務のランク	なし
指名業者数	3社
指名業者を選定した考え方	松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、石垣総合調査実績のある3社から全者を選定した。
入札参加業者数	2社
契約金額(税込)	11,340,000円
入札の経緯及び結果	平成25年2月8日 開札 (株)空間文化開発機構に落札決定。 (詳細は入札経過表のとおり。)

【報告事項等について】

(契約検査課長挨拶)

- ・松江市では、国の緊急経済対策を受け今年の2月議会で約20億円の補正を組み対応してきているところである。これに併せて、3月1日からは入札制度の改正を行い「最低制限価格の適用対象拡大」「基準価格等設定見直し」「指名競争の適用範囲の拡大」により、速やかな予算執行と公共工事の品質の確保を主眼に置き実施しているところである。
- ・また、今年の4月からは、技能労働者の減少等に伴う「労働市場の実勢価格の適切な反映」と「社会保険への加入徹底」の観点から「公共工事設計労務単価」が大幅に引き上げられており、平均で15.1%、島根県で11.9%の引き上げになっている。松江市も4月から適応しているところである。
- ・今回は平成24年12月から平成25年3月までの工事56件、業務17件の中から5件抽出いただっており、年間を通じた落札率や事業種別ごとの状況、近年の制度改正の変遷についても資料を配布している。忌憚のないご意見をいただきたい。

1. 落札率等の状況について

(報告要旨)

[建設工事]

- ・平成24年度年間を通しての落札率は、低入札調査基準価格等を設定しない工事を除き、90.21%と前年度と比較して1.77ポイント低下している。主な低下理由としては、工事の減少により土木工事等において競争性が高まっていることが要因と推測される。
- ・12月から3月までの入札件数は56件で、前年同期68件からは12件減少している。
落札率については、12月と3月は年平均に近い90%台、1月は最低制限価格を設定していない工事(松江市営補助競技場人工芝改修工事)の落札率がかなり低かったこともあり低くなっている。2月は工期が短いこともあり、落札率が高かったためと推測している。
- ・前年度より低下している主な工種は、土木、建築、管、舗装、防水などである。土木は最低制限価格等に僅差の落札率82%、83%台の工事も見受けられ競争性が高まっているものと推測される。建築は小中学校耐震補強工事等が落札率を引き下げている。管・工事は、下水道の接続ポンプ設置工事、消防指令センター整備工事などが落札率を引き下げ22年度並みとなっている。舗装は最低制限価格を設定していない工事(松江市営補助競技場人工芝改修工事)の落札率が60%台と低かったことや86%台の工事でも2件あり低くなっている。防水は主に校舎の屋上防水工事で85%~87%の落札率であったため、落札率を引き下げている。さく井は、玉造温泉第1泉源整備工事の1件である。
- ・前年度より上昇しているのは、8,000万~9,000万円と1億円~1億5,000万円。1,000万~2,000万円は前年度並み、その他の価格帯は減少している。前年度と比較して500万円未満、500万~1,000万円は、3年連続落札率が低下しており、発注額の減少により低価格帯でも競争性が高まっているものと推測される。際だって落札率の低い6,000万~7,000万円は2件の低入札価格調査案件を含む工事である。1億5,000万円以上の工事は消防指令センター整備工事、宍道中学校屋内運動場建築工事(JV)である。
- ・市内業者について、土木18減、建築5減、土木・建築以外で2減、合計25減。市内事業者外合計で55減と減少傾向が続いている。

[業務委託]

- ・平成24年度年間を通しての落札率は、92.32%で、前年度と比較して1.42ポイント上昇している。件数の多い土木設計、建築設計の落札率の上昇が影響していると思われる。
- ・12月から3月までの入札件数は17件で、前年同期20件からは3件減少している。
落札率については、年平均と比較して12月、3月が高く、1月、2月は低い。12月は地盤調査や橋梁の耐震補強調査設計業務が、3月は本庁舎耐震補強基本計画策定業務が落札率を引き上げている。1月はトンネル点検や武家屋敷保存修理工事設計業務が、2月は松江城石垣総合調査業務の落札率が低い。
- ・前年度と比較して測量は落札率が低く、そのほかの業種は高くなっている。測量は、地籍調査業務委託6件が前年度より低かったことから低下している。土木設計は下水道台帳図修正業務、測量調査設計業務等の落札率が高く全体の平均を引き上げている。建築設計は、耐震改修設計業務、耐震診断業務等が落札率を引き

上げている。これは、耐震診断資格者が在籍する市内 12 社全社指名によるもので、競争性が働きにくいと推測される。地質調査は、道路法面工の調査、工事敷地の地盤調査業務、補償は建物の物件調査業務、工事損失補償の調査業務である。その他は資材価格調査業務等である。

- ・前年度と比較して落札率は、1,000 万～2,000 万円未満が低く、そのほかは高くなっている。500 万円未満、500 万～1,000 万未満は小学校校舎などの耐震改修設計業務等の落札率が高い傾向にある。1,000 万円～2,000 万円は都市計画関連の調査業務、災害危険度判定調査などの落札率が低い傾向にある。2,000 万円～3,000 万円は測量調査設計業務、城西幼保園建設工事設計業務、興雲閣保存修理工事設計業務の 3 件である。

2. 入札方式別発注工事等の状況について

(報告要旨)

- ・12 月から 3 月の状況について、一般競争入札は、前年同期と比較し 2.95 ポイント低下している。指名競争入札は 0.6 ポイント低下している。一般競争入札について、集計表の工種別平均落札率をみると、土木一式において 87.34%と低い傾向にある。

質問及び意見	回答
<p>○登録事業者が減少しているという説明があった。事業者や技術者が減少により競争性も減ってくると思うが、どのように考えているか。登録事業者を増やすような方法はあるのか。</p> <p>○他の地域と比べて、松江市だけ減少しているなら不自然である。他の地域との比較や、公正取引委員会に照会を行うなど、全体的な傾向と比べて不自然さはないか調べてみても良いかもしれない。</p>	<p>○登録事業者は減少しているが、この合計数は複数の工種に登録のある事業者の重複を含んでいる。登録事業者の具体的な減少数は分からないが、倒産や廃業等により 80 社が減少しているというわけではなく、複数の工種から、得意な専門の工種に絞って登録する傾向に変わってきていると思う。</p> <p>○確認したい。</p>

【審議事項について】

1. 一般競争入札【市道古志大野線道路改良その 5 工事】

(説明のポイント)

- ・市道古志大野線は、宍道湖北岸沿いの国道 431 号の北側に位置し、松江市と出雲市を東西に結ぶ主要路線となっている。本工事は、古江小学校前交差点付近から西へ 340m の区間を道路改良するものである。
- ・入札参加資格は、平成 23・24 年度松江市建設工事競争入札参加資格者名簿に記載があり、土木一式工事の総合点数が 851 点以上（松江市の格付 B 以上に相当）で、建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有し、平成 9 年度以降に完成した 1 契約で 2,500 万円以上の土木一式工事の施工実績があることとしている。
- ・入札参加資格確認申請数は 8 社、入札参加者数は 7 社である。
- ・契約金額（税込）は 58,170,000 円、落札率は 96.97%である。
- ・落札率が約 97%と高かった理由としては、次のことが考えられる。
 - 1) 総合評価方式（特別簡易型）により落札者を決定し、低入札価格調査制度が適用される工事であり、各参加者ともに安全な価格で入札していると考えられる。
 - 2) 年度末に発注する繰越工事であり、通常は入札希望の多い工事ではあると考えられるが、工事支障物件移設等との調整（電柱移設・マンホール等高調整）が必要となる。
 - 3) 落札者は、平成 21 年度から同道路の改良工事を施工しており、現場も熟知したうえで、適正な積算のもとに入札を行った結果と考える。
 - 4) 落札者は継続してこの路線の工事を受注しており、現場事務所の営繕（設置・撤去、維持・修繕）に要する費用などを、多少安価に見積もることが出来たものと考えている。

質問及び意見	回答
<p>○総合評価方式だとこのような傾向にあるのか。</p> <p>○この案件はその5工事となっており、先ほどの説明だと前の工事と同じ業者（佐藤組）が落札していることだが、その1からその5までほぼ同じ業者が落札しているのか。</p> <p>○落札率はどうか。</p> <p>○この案件は高かったということか。</p> <p>○落札率が83%～87%程度だったときは、入札参加業者が多かったのか。</p> <p>○本案件は適切に手続きを行われているということによろしいか。</p> <p>（全委員、了承。）</p>	<p>○通常だと総合評価方式でも、もう少し低い落札率になると思うが、この工事の場合は、何故か高い落札率となっている。</p> <p>○その1は違う事業者が行っており、その2から佐藤組が行っている。</p> <p>○落札率は、83%～87%程度となっており、総合評価方式でも一般的には競争性が高まるのが普通である。</p> <p>○そうです。</p> <p>○A又はBという同様の入札制限があったが、10者程度であった。</p>

2. 一般競争入札【松江市営補助競技場人工芝改修工事】

（説明のポイント）

- ・工事箇所は松江市上乃木十丁目地内の松江市営補助競技場。
- ・松江市営補助競技場は、平成18年度にJFA（日本サッカー協会）から補助を受け、人工芝公認サッカー場に改修している。改修後6年が経過し、コート中央部の芝の摩耗が激しく、3年毎に更新が必要となるJFA公認検定に合格することが困難であるため、摩耗部人工芝を張替改修する工事である。
- ・入札参加資格確認申請数は2社、入札参加者数は2社である。
- ・低入札価格調査制度及び最低制限価格制度を適用しない工事としている。
- ・契約金額は19,950,000円（税込）、落札率は60.64%である。
- ・落札率が低い理由としては、次のことが考えられる。
 - 1) 本工事は、島根県が発行している建設工事積算基準に歩掛がないため、3業者から見積もりを徴収してそれを採用し積算している。また、人工芝の単価は島根県の定めて単価がなく、物価資料にもないため、特別資材調査を一般財団法人 経済調査会で調査をし、その単価に基づいて積算を行っている。
 - 2) 受注者は平成18年度当初改修工事に下請業者として参加施工していること、また、隣接のテニスコートで人工芝の改修工事を実施していることから、現場に精通していることや同時期に同じ中国地方（広島市）で人工芝改修工事があったため、人工芝を大量購入することによる材料費や運搬費のコストダウンによって、間接経費の圧縮を行ったことなど、高い受注意欲により落札率が低くなったのではないかと思われる。

質問及び意見	回答
<p>○この案件はそもそも予定価格を高く設計してしまったということはないか。</p>	<p>○受注者が提出した内訳書を見ると、直接工事費である材料費は大量購入の為か低くなっている。また、輸送などの間接工事費もかなり低く見積もられているおり、併せて60%程度の落札率になっている。間接工事費は、材料は競技場に置くこともでき、仮設</p>

<p>○最低制限価格制度を適用しない工事としているのは何故か。</p> <p>○入札で2番目に安い金額と比べると、かなり金額に開きがあるが、この違いは材料費が安く購入できたからと理解してよいか。</p> <p>○手抜き工事ということはないか。</p> <p>○本案件は適切に手続きが行われているということではよろしいか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>などを行う工事でもなく、施設に時間のかかる工事でもないということから圧縮できたのではないかとと思われる。</p> <p>○本案件は人工芝の材料費が全体工事費に占める割合が高いため。</p> <p>○入札で2番目に安い金額の業者の内訳書がなく、内訳書があれば比較してもう少し詳しい説明ができたと思う。先ほども申し上げたが、材料費も大量購入で多少低くなっている。間接工事も下がっており、全体で40%下がったのではないかと推察している。</p> <p>○3年毎に日本サッカー協会の検定を受ける必要があり、1/3の改修で検定を受けた例は他にないが、合格している。</p>
---	--

3. 指名競争入札【林道大谷東線舗装工事】

(説明のポイント)

- ・本道路はアスファルト舗装がされていない砂利道である。そのため、平成23年度から年次、継続的に舗装改良工事を行っている。今回の工事は施工延長 L=2,070m、全幅員 4.0~5.0mで、舗装下の路盤(砕石、砂利部分) t=7cmで A=10,510 m²、アスファルト舗装 t=4cmで A=10,096 m²を行うことで平坦性と走行性の良い道路とした工事である。
- ・松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、舗装工事登録のある市内業者のうち、アスファルトフィニッシャーを保有(継続的なリース契約を含む)し、恒常的にオペレーターが在籍している11社、全者を選定した。入札参加業者は11社だった。
- ・契約金額は43,050,000円(税込)、落札率は95.67%である。
- ・契約金額が大きい理由としては、次のことが考えられる。
 - 1) 本工事は、島根県が発行している建設工事積算基準により積算されているので、歩掛や単価は公表されている。設計書と工事費内訳書を比較したが差が無く、予定価格に近い積算がされていた。
 - 2) 指名した11業者全社が応札しているので、受注意欲はあったが、同時期に他に10件の舗装工事の発注があったため、落札率が95.67%となったと思われる。

質問及び意見	回答
<p>○林道などの舗装工事だと、平坦な街中の舗装工事と違い、入札金額にバラつきができるかと思ったが、入札金額にあまり差はでていないのは何故か。</p> <p>○本案件は適切に手続きが行われているということではよろしいか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>○県の積算基準を使っており、公表もしているため、あまり差がない金額になるのだと思われる。ただ、林道だと全面通行止めにはできないかもしれないが、街中だと全面通行止めはできないなど、仮設費等で違いは出てくるとと思われる。</p>

4. 指名競争入札【美保関分団美保関班消防機庫西地区新築工事】

(説明のポイント)

- ・本工事は、積載車（軽車両）導入に伴い、老朽化した機庫を車両の入庫可能な機庫へ建替えるものである。
- ・松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、建築一式工事登録のある市内業者 48 社のうち、15 社をローテーションにより選定した。入札参加業者は 1 社だった。
- ・契約金額は 3,979,500 円（税込）、落札率は 99.82% である。
- ・落札率が高い理由としては、次のことが考えられる。
 - 1) この工事は当初、11 月 22 日に 15 社により入札を行ったが、第 1 回目の入札で 1 社のみ応札があり、あとの 14 社はすべて辞退した。第 2 回目の入札も該当の 1 社が辞退し不調となり、指名業者を総入れ替えて再度入札したものである。
 - 2) 工期が年末から年度末にかけての冬季の時期的な制約があり、辞退者が多かったものと推測される。
 - 3) 工事場所が美保関町で市街地から距離があり、資材の運搬費がかかること、また、規模が小規模で割高となること、敷地が狭隘であること等の悪条件から敬遠され落札金額が高かったのではないかと推測される。
 - 4) 落札者（紅花組）は工事場所に会社が近いという位置関係の面で他社よりは有利な条件下にあったと言える。

質 問 及 び 意 見	回 答
○基礎は必要であると思うが、ほとんど建物だけの工事なのか。規格品みたいな物があるのか。	○規格品ではない。小規模だと手間がかかり、材料なども割高になっていると思われる。工程的にも大規模な物と比べるとロスが出て割高になると思われる。
○落札率がほぼ 100% だったのは何故か。	○第 1 回目の入札は不調となり、業者は総入れ替えて再度入札を行ったが、事業者は第 1 回目の入札経緯を把握していることが影響していると思われる。
○工期が 12 月～3 月であることが、敬遠された理由の一つに考えられるということだったが、入札の時期を前倒しにすることは出来ないのか。	○年度末に入れる車両を早く購入すること等もできたかもしれないが、使用する消防分団の考えもあったと思われる。
○第 1 回目も第 2 回目も入札参加業者が 1 者だったのは気になるが、仕方ないと思われる。 紅花組はこの工事だけでなく、「松江北消防署（仮称）東分署建設（屋外附帯）工事」も 1 者で落札しているが、ローテーションでたまたま両方指名されたということか。	○地域性も考慮している。また、時期も少し違う。紅花組は島根町で工事場所が近く、その点は他社より有利であったと考えられる。
○工種により指名業者数と入札参加業者数に違いがある。土木では指名業者数の半数以上が参加されている感じだが、建築では参加者数が 1/3 以下と少ない。 建築では指名者数が多いが応札する事業者が少なく、落札率が高い傾向がみられ、土木ではそれなりに競争が感じられるが、建築では競争状態がみられない。	○ご覧の資料は 130 万円以上～1,000 万円未満の工事であるが、建築では参加者数は 1 者から数者で、平均すると 3.2 者となり、おっしゃる傾向になっている。
○建築では、競争性があまりなく、1 者、2 者で高止まりしていると感じられる。時期や工事の内容によ	○以前からある程度ある傾向と思う。この資料は制度改正前のデータだが、制度改正後も地域重視をして

<p>って参加したくない工事もあると思われるが、それにしても土木と建築で差異がある。指名業者を増やす等の必要はないか。 この傾向は以前からあるのか。</p> <p>○もう少し調査していただき、この傾向が顕著にあり、改正する必要があるれば、入札の仕方や発注時期など工夫が必要になると思う。検討課題としていただきたい。</p> <p>○本案件は適切に手続きを行われているということによろしいか。</p> <p>(全委員、了承。)</p>	<p>いる。今後、制度の改正まで進むかは分からないが、もう少し調べてみたいと思う。</p> <p>○1,000万円以上の工事も含めて、確認したい。</p>
--	---

5. 指名競争入札【平成 24 年度 史跡松江城石垣総合調査業務委託】

(説明のポイント)

- ・本業務は、史跡松江城の石垣について、今後の修理・保護計画・管理方法などの計画を策定するため、3次元計測レーザー測量による史跡地内の石垣の詳細な測量調査及び調書を作成するものである。
- ・今回の業務は、天守閣を囲む本丸部分のうち対象面積 1,893㎡の石垣を調査するもの。
- ・松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、石垣総合調査実績のある 3 社から全者を選定した。入札参加業者は 2 社だった。
- ・契約金額は 11,340,000 円 (税込) である。
- ・落札率が低い理由としては、次のことが考えられる。
 - 1) この調査業務は、平成 24 年度から 26 年度の 3 ヶ年で実施するものの 1 ヶ年目であり、全石垣の調書作成後 (平成 26 年度) は、総合的な検証を行い、今後の修理・保護計画、管理方法にかかる計画面策定を最終目的としている。次年度以降の調査業務の受注機会も期待できる事から、積極的な競争入札が行われた結果であると考えられる。
 - 2) 設計額の大部分は、見積業者選定依頼に基づき 3 社見積もりを徴して決定しているが、その見積結果に大きな格差がある。(設計には) 三次元レーザー測量やカルテ作成業務及び諸経費も、見積内容にかなりの格差がある。その主たる業務内容 (三次元レーザー測量・カルテ作成) について、見積徴取し平均直下の見積を反映させ予定価格を決定しているが、史跡の石垣総合調査という特殊な業務内容であり、入札業者間でも入札額に大きな格差が出たものと考えられる。

質問及び意見	回答
<p>○三者以上から見積を徴して、平均値を採用するという説明であったが、見積に参加する業者と入札に参加する業者は同じになるのか。</p> <p>○三者の平均値を採用することなら、見積では高い価格とし、入札時は低い価格とすれば、落札率は下がることになると思う。予定価格と落札価格の比較に意味があるのかどうか。それより、随意契約で見積を徴して、見積を中心に価格を交渉し設定した方が、良いのかなとも思う。 市からすれば落札率が下がることは良いことと思うが、予定価格の設定の仕方がすっきりしない。</p> <p>○よく分からないのは、見積した業者と入札に参加し</p>	<p>○今回は業務内容が特殊だったこともあり、専門的な業者が三者しかいなかったため、見積も指名も同じ三者となっている。</p> <p>○特殊な業務であり歩掛による積算が難しいため、専門的な業者から三者見積を徴し、その中で平均額の直近以下の業者の歩掛を採用し、予定価格を算出している。</p> <p>○今回の業務は全体的な業務となっているが、3D測量</p>

<p>た業者が同じであるにも関わらず、入札時には70%～80%のような金額となること。普通は見積の金額の以下となるのは…。</p> <p>公表できるのなら、三者の見積をお知らせいただきたい。</p> <p>○見積金額が低い業者が落札業者となっているのか。</p> <p>○特殊な業務ということだが、業者を選定というか、探しだす方法はどのようにしているのか。</p> <p>○他市町村等に照会して実績のある業者を探し出すのか。</p> <p>○データベースを持っている会社に照会しているということか。</p> <p>○特殊な業務委託であり、国内でできる業者が限られている。その業者に見積を徴し、予定価格を設計しているとなると、入札を行う方が競争性を担保できるのか、随意契約が良いのか、硬直的に考えず、運用実態からどのようにすべきか、検討した方がよいのではないか。後藤委員の指摘もそういうことだと思う。</p> <p>○本案件は適切に手続きを行われているということでしょうか。</p> <p>(全委員、了承)</p>	<p>の前提として基準点を設置するような業務も行っており、それについては島根県の測量歩掛に基づいて積算している。それと今回の見積を合算して予定価格を設計している。</p> <p>三者の見積については、格差が見積段階から出ている。</p> <p>○見積金額が低い業者が落札業者となっている。見積の段階から大きな開きがあった。</p> <p>○今回の業務箇所が史跡松江城ということもあり、石一つを動かすにも形状変更という難しい業務箇所であるため、業者選定に当たっては、国指定の石垣調査実績があることを基に選定している。</p> <p>○テクリスという会社が全国的な委託実績のデータを持っており、そこに照会をして抽出している。</p> <p>○はい。工事の場合は工事实績のデータベース、委託の場合は委託実績のデータベースにアクセスし、抽出している。</p> <p>○了解しました。</p>
--	---

【報告事項】

1. 指名停止等の運用状況について

- ・2件の指名停止と1件の注意喚起を行っている。指名停止2件は独占禁止法違反行為により、島根県と同様にそれぞれ6箇月間の指名停止とした。注意喚起1件は安全管理措置の不適切により生じた工事関係者事故だが、要綱等に基づき、注意喚起とした。

【その他】

[次回開催予定について]

- ・抽出対象期間は平成25年4月1日から平成25年7月31日とし、抽出委員は松江市入札監視委員会運営要領の規定により、有田委員とする。
- ・平成25年10～11月頃に開催することとし、日時は事務局で調整する。

以上